

ミッドワイフトーク

助産師だより

ホーム
ページ版
Vol.4

平成26年3月 第15号
公益社団法人栃木県看護協会
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F
TEL 028-625-6141
発行責任者 河野順子

ごあいさつ

助産師職能委員長 寒河江 かよ子

会員の皆様には、ますますご健勝事と心からお慶び申し上げます。
日頃のご協力を深く感謝しております。

栃木県看護協会助産師職能委員会の活動として、新人助産師研修会の開催、助産師の実践能力効果として、日本看護協会が推進する助産師のラダーの推進、地域住民への貢献としてヒューマンフェスティバルへの参加や、「うまれる」映画上映など積極的に活動しています。

産婦人科医師不足のため、産科病棟の閉鎖が続き、助産師が一般病棟で看護師として、勤務している現状もあり、日本看護協会助産師職能委員会で促進している、助産師の出向システムの推進を、栃木県看護協会でも協議会を開催し、助産師会、医師会、栃木県行政一丸となり積極的に推進できるシステム作りに取り組んでいます。

今後の助産師活動発展のため皆様からの多くのご意見をお待ち致しております。



施設紹介

たんぽぽ母乳育児相談室

三浦孝子

相談室は栃木県北、那須塩原市の林の中にあります。学校法人アジア学院（農村指導者養成専門学校ARI）から徒歩2分のところです。

保健師から専業主婦、そして勤務助産師を経て、2005年 8月に「たんぽぽ母乳育児相談室」を開業いたしました。

勤務時代に職場で始めた「おっぱいおしゃべりの会」という集いが退院後のお母さんに喜ばれいつもにぎわいました。順調な母乳育児を楽しんでいる人、なかなか母乳量が増えずに悩んでいる人、夜泣きに困惑している人、おっぱいのやめ方に悩む人…さまざまな背景を持った母親が集い、みなでおしゃべりしているうちに、悩んでいるのは自分一人ではないと気づいて元気になります。ママ友ができ、にこにこ帰路につきます。

この光景が忘れられずに、開業一番に始めたのが、「たんぽぽママのおしゃべり会」です。「おっぱい」を会の名前に入れなかったのは、母乳育児を希望していたけれども、人工乳になってしまった方々も、気軽に来て仲間に入ってほしかったからです。

個別の母乳育児相談、マタニティヨガや出産前クラス、インファント・マッサージクラスなど行っていますが、中でも、「おしゃべり会」が一番楽しい支援の場となっています。



週末はIBCLCとして医療者のための「UNICEF/WHO 母乳育児支援基礎セミナー」のファシリテーターも務めます。地域のお母さんたち情報がとても役立ちます。

また夏と冬には北インドの母子保健プロジェクトにも携わっています。

私の不在の間も「おしゃべり会」は定例会を続けます。母親から母親への、心のかもったピアサポートをしてくださるお母さんたちが毎年10名以上得られることは、地域助産師として、この上ないしあわせなことだと思っています。

三浦孝子 那須塩原市槻沢420-42

tanpopomama88@gmail.com

たんぽぽママのおしゃべり会 定例会:おおむね第一火曜:那須塩原市健康長寿センター

写真上:おしゃべり会の様子 写真下:インドの農村女性と健康の集い(筆者右端奥)



助産所 ままと赤ちゃんの家の展望

ままと赤ちゃんの家
武藤 香子

平成13年4月、私は12年の病院勤務を経て、安産で心から満足できる出産を目指し、助産所を開業しました。現在までに400人の赤ちゃんが生まれています。会陰に傷のないお産、疲労の少ないお産、出血の少ないお産を実現でき、赤ちゃん達は両親始め身近な人々の愛情に包まれて幸せに育っています。

一方で自分の子供を愛せないママ達や、親に育ててもらえない子供達にも出会いました。DVや虐待、貧困という困難の中にいる親子を支援するNPOを立ち上げて10年になります。この活動を更に充実させていくために、栃木県の委託を受けて、今年度ファミリーホーム(小規模住居型養護施設)を開所します。

助産所「ままと赤ちゃんの家」は新築移転し、安全と安産の両立を目指していきます。また、安産のための助産技術を後輩に伝えていくことも、開業助産師の使命と考えます。今後ますます後輩の育成に努めていく所存です。



平成26年7月 新築移転予定

地域密着型のクリニック

亀森レディースクリニック

2011年10月1日光市の補助を受け地域密着型のクリニックとして開院しました。

当時、日光市では分娩を取り扱っている施設が1か所のみで、多くの妊婦さんは近隣の他市へ行って出産をしなければならない状況でした。

そのため市民の皆様からの期待も大きく、その期待に沿えるようスタッフ一丸となって頑張ってきました。

去年は日光市の出生数の6割の方が当院で出産されております。

病床数14床、プライバシー重視のため全室個室です。

落ち着いた雰囲気の中でゆったりと入院生活を送っていただけるよう照明・壁紙にもこだわりました。

安心して出産に臨んでいただくため、スタッフは病棟・外来をローテーションし、妊

娠中から気軽に相談できる相手としてアットホームな関係作りを心がけ、妊婦健診では毎回助産師がエコーを行い(医師も必ず確認)ながら、保健指導にも力をいれています。

出産の際は「生む力」を最大限に発揮できるよう産婦さんと一緒に考えケアしていくことを大切に、「ここで産んでよかった!」「またここで産みたい!」と思っていただけるよう日々考え努力しています。

産後の育児支援・ママ友作りの場として

- ・アフターヨガ
- ・ベビーダンス
- ・ベビーマッサージ

などの各種教室も行っています。その中でもベビーダンスは赤ちゃんの寝かせつけや、ママのシェイプアップ効果もあるとのことで人気の教室になっています。

これからも、安心して出産できるクリニックとして地域の皆様に信頼され、愛され続けるよう日々成長していきたいと考えます。



こんな活動をしています。



ヒューマンフェスタ H25. 11.10

「人権・やさしさ・命の大切さ」をテーマに開催されました。

小さいお子さんを連れた家族が多く来場され、産声と胎児心音に耳を傾けたり、妊婦疑似体験をしました。

映画上映会 H25.7. 13

「うまれる」

命の大切さを改めて感じる機会となりました。たくさんの方が参加して下さいました。



新人助産師、施設代表者交流会

H26. 1. 18

県内の産科施設代表者、新人助産師が集まり交流会を行いました。

